

平成 29(2017)年 12 月 6 日 報道発表資料
【本リリース発信元】ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当:松本、長野

報道関係者各位

平素よりお世話になっております。ロームシアター京都よりご案内です。ご注目のほどよろしくお願いたします。
<トピックス>

【詳細決定】2018/1/14~2/4 開催 文化庁メディア芸術祭京都展「Ghost (ゴースト)」

- ◆2018/1/14~2/4 開催 文化庁メディア芸術祭京都展「Ghost (ゴースト)」展示内容詳細決定!
- ◆2018/3/27 開催「京都発見!クラシック vol.7」チケット発売中
- ◆2018/2/14 開催「ハンプルク・バレエ団 特別ワークショップ」参加者募集開始
- ◆2018/2/2 開催「いま」を考えるトークシリーズ [vol.2] 参加者募集開始
- ◆【取材案内】12/16 開催「いま」を考えるトークシリーズ[vol.1]定常型・高齢化社会の“創造的”生き方を考える



2018年1月14日より22日間にわたり、文化庁メディア芸術祭京都展「Ghost(ゴースト)」を開催いたします。このたび、展示作品詳細が決定致しましたのでご案内いたします。文化庁メディア芸術祭の歴代受賞作品15点と、本展のための作品2点を加えた合計17作品を展示します。複合的芸術エリアとして再整備の進む岡崎エリアに位置するロームシアター京都を会場に、「Ghost(ゴースト)」をテーマとした、オリジナリティあふれる企画展となります。

展示内容、フロアマップ等詳細は展覧会プレスリリースをご覧ください [プレスリリースはこちら](#)

文化庁メディア芸術祭京都展「Ghost(ゴースト)」特設WEBサイト <http://mediaarts-kyoto.com>

【開催概要】

開催期間:2018年(平成30年)1月14日(日)~2月4日(日) [22日間]

開催時間:午前10時~午後7時(火曜日は午後1時~午後7時)

会場:ロームシアター京都 ノースホール、プロムナード、共通ロビー、ミュージックサロン

※ノースホール:1月14日(日)~1月25日(木)の12日間。

ミュージックサロン:1月14日(日)~1月21日(日)の8日間。

入場料:無料、申込不要

文化庁メディア芸術祭とは

文化庁メディア芸術祭は、アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門において優れた作品を顕彰するとともに、受賞作品の鑑賞機会を提供するメディア芸術の総合フェスティバルです。メディア芸術の創造とその発展を図ることを目的に、1997年度から毎年開催されています。東京で行われる受賞作品展に加え、メディア芸術祭の受賞作品を中心に、展示・上映、解説等を行う展覧会を地方で開催し、優れたメディア芸術の鑑賞機会を提供しています。

【チケット発売中】2018/3/27 開催 京都市交響楽団「京都発見！クラシック vol.7」

普段、クラシックコンサートになじみのない方にも親しんでいただけるよう、どこかで耳にしたことのあるようなクラシックの名曲をお楽しみいただきます。さらに、指揮者とスペシャルゲストが、演奏曲や音楽、京都にまつわるトークを繰り広げます。vol.7 では、スペシャルゲストにプロフィギュアスケーター／元オリンピック日本代表の鈴木明子さんが登場します！



左から指揮: 広上淳一 Photo: Greg Sailor ゲスト: 鈴木明子 ピアノ: 岡田 奏 (c)Kazashito Nakamura

【プログラム】

第Ⅰ部 「表現するカタチ～フィギュアを彩る名曲たち～」 鈴木明子 & 広上淳一によるトーク

第Ⅱ部 J.シュトラウス 2 世: 喜歌劇「こもり」序曲
ラフマニノフ: ピアノ協奏曲第 2 番ハ短調 op.18
J.シュトラウス 2 世: ワルツ「美しく青きドナウ」

日時: 2018 年 3 月 27 日(火) 11:00 開演

会場: メインホール

料金: 全席指定 2,000 円 ※未就学児入場不可

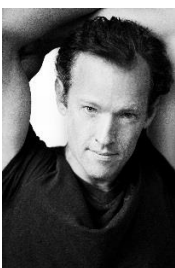
チケット好評発売中 ロームシアター京都オンラインチケットほかで取扱

主催: 京都市交響楽団、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

助成: 平成 29 年度 文化庁 文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業

【参加者募集】2018/2/14 開催「ハンブルク・バレエ団 特別ワークショップ」

＜「京都賞」受賞者 ジョン・ノイマイヤー振付・演出 ガラ公演 関連企画＞



2018 年 2 月 17 日(土)にロームシアター京都メインホールで開催する、ハンブルク・バレエ団によるガラ公演＜ジョン・ノイマイヤーの世界＞に先がけ、2 月 14 日(水)に、バレエのワークショップを実施いたします。このワークショップは、「京都賞」受賞者でもある世界的な振付家ジョン・ノイマイヤー率いる「ハンブルク・バレエ団」のプリンシパル ロイド・リギンズ氏による、1 日限りの特別レッスンです。

一流のバレエダンサーから京都でレッスンを受けることができる貴重な機会ですので、プロを目指す若手ダンサーのご応募をお待ちしております。

講師: ロイド・リギンズ(ハンブルク・バレエ団 プリンシパル)

日時: 2018 年 2 月 14 日(水) 18:00～20:00 会場: サウスホール

対象: 12 歳から 18 歳(中学 1 年生～高校 3 年生)の男女 ※女性は、ポワント歴 3 年以上

参加費: 無料 定員: 30 名程度(応募多数の場合は、抽選とさせていただきます)

受講申込受付期間: 12 月 8 日(金)～2018 年 1 月 9 日(火)

詳細・申込についてはこちら(<http://rohmtheatrekkyoto.jp/program/7469/>)

主催: ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

特別協賛: 公益財団法人 稲盛財団

助成: 平成 29 年度 文化庁 文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業

【参加者募集】2018/2/2 開催「いま」を考えるトークシリーズ

[vol.2] 多数決と民主主義～「わたしたちの意思」の表現とは

複雑化し、混迷する現代を「いかに生きるべきか」。その手がかりを探り、ともに考えるトークシリーズの第二回の参加者募集を開始します。

子どもの頃から教えられる多数決。集団が異なる意見に分かれたとき、わたしたちは幾度となく、この方法でその場を解決してきました。一方で、昨年実施されたイギリスのEU離脱を問うた国民投票、アメリカ大統領選など、国論を二分しながらも多数決によって決められた結果が大きな波紋を呼び、世界中が揺れています。果たして民主主義を支えるはずの多数決という方法は、「わたしたちの意思」をどのように反映しているのでしょうか？第二回は、「多数決を疑う」(2015年)の著者で社会的選択理論が専門の坂井豊貴氏をお迎えし、多数決に関する様々な研究、理論を体感するレクチャーを実施します。後半には、演劇作家の岡田利規氏との対談を行い、「わたしたちの意思」を表現する多数決の方法と民主主義のあり方について考えます。



坂井豊貴



岡田利規

ゲスト:坂井豊貴(慶應義塾大学経済学部教授)、岡田利規(演劇作家、小説家、チェルフィッチュ主宰)

日時:2018年2月2日(金)14:00～ 会場:ロームシアター京都内

参加料無料・事前申込制、2017年12月16日(土)から受付開始

申込方法: [ロームシアター京都WEBサイト\(http://rohmtheatrekyoto.jp/\)](http://rohmtheatrekyoto.jp/)内の専用予約フォームからお申込みください。

【取材案内】12/16 開催「いま」を考えるトークシリーズ

[vol.1] 定常型・高齢化社会の“創造的”生き方を考える

複雑化し、混迷する現代を「いかに生きるべきか」。その手がかりを探り、ともに考えるトークシリーズの第一回は、日本社会が直面する超高齢化時代において、劇場が生み出しうるコミュニケーションについて考えます。ゲストに、ポスト市場化社会としての“定常型社会”を提唱し、コミュニティについて著書多数の広井良典氏(京都大学こころの未来研究センター教授)と、「老人介護の現場に演劇の知恵を、演劇の現場に老人介護の深みを」という理念のもと演劇公演などを行い、多方面から注目を集める「老いと演劇」OiBokkeShi 主宰・俳優で介護福祉士の菅原直樹氏をお迎えし、社会状況と実践的な芸術活動の現在形から、劇場にたちあがる“創造的”コミュニケーションの輪郭を探ります。



広井良典



菅原直樹

ゲスト:広井良典(京都大学こころの未来研究センター教授)、菅原直樹(OiBokkeShi 主宰、俳優、介護福祉士)

日時:2017年12月16日(土)16:30～19:30 会場:パークプラザ3階共通ロビー

スケジュール:16:30～17:15 広井良典氏レクチャー 「創造的定常型社会とケア・コミュニティ」

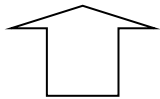
17:15～18:15 菅原直樹氏レクチャー&ワークショップ 「老い・ボケ・死を芸術文化で捉え直す」(休憩)

18:20～19:30 ディスカッション、質疑応答

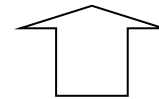
参加料無料、事前申込制:申込はこちら(<http://rohmtheatrekyoto.jp/program/7122/>)

<取材案内>本企画について、是非ともご取材頂きますようお願いいたします。取材いただける場合は、別紙の出席確認票を12月15日(金)までにFAXにてロームシアター京都(送付先:075-746-3366)に送付ください。

[本リリースに関するお問合せ先] ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 担当:松本、長野
電話:075-771-6051(9:00～17:00) FAX:075-746-3366 E-mail: press@rohmtheatrekyoto.jp



ロームシアター京都 宛



FAX:075-746-3366

「いま」を考えるトークシリーズ
[vol.1] テーマ：定常型・高齢化社会の“創造的”生き方を考える

- (1) 日 時 平成29年12月16日(土)
開演：午後4時30分開始
- (2) 場 所 ロームシアター京都 パークプラザ3階共通ロビー
- (3) ゲ ス ト 広井良典(京都大学こころの未来研究センター教授)
菅原直樹(OiBokkeShi 主宰、俳優、介護福祉士)

御芳名	
媒体名 貴社名	
TEL	() - ※当日連絡可能な連絡先 () -
FAX	() -
撮影希望	<input type="checkbox"/> テレビカメラ [音声ライン希望 有 / 無] <input type="checkbox"/> スチールカメラ
備考	

◆平成29年12月15日(金)までに 本票をFAXにて(075-746-3366)送付願います。

◆当日は、本票を会場受付にご提示ください。

◆駐車場はございません。公共交通機関を御利用いただくか、お車でお越しの際は近隣の駐車場を御利用ください。